

# Narajaisc Special Edition

グローバル女性人材養成プログラム（フィリピン）

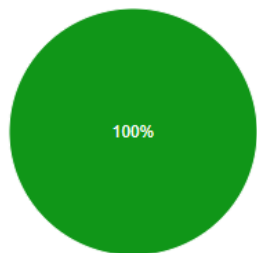


\*\*\*\*\*  
参加費の一部は  
廣岡栄子国際奨学金  
より補助しています  
\*\*\*\*\*

8/20-9/4の16日間、国際戦略センター（奈良女子大学）主催で、2024年度グローバル女性人材養成プログラム(フィリピン セブ島)を実施し、奈良女子大学から14名が参加しました。

今回の研修では、QQEnglish セブ島ITパーク校で、英語のマンツーマンレッスンとグループレッスンを受けました。校舎内に学生寮が併設されており、研修期間中はこの学生寮に宿泊しました。研修の合間には、街へ出かけたり、観光スポットやレストランやカフェ、週末には海でマリンスポーツを体験したりしました。研修期間中、毎日のようにたくさんの写真が集まり、参加した学生のみなさんにとって、楽しく充実した研修だったことがうかがえます。この特別号では、帰国後実施した参加学生へのアンケートの回答の一部を紹介します。

Q. 今回の研修によって、自分の語学力はどのように変化しましたか？

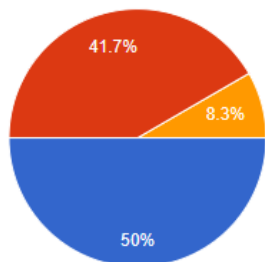


- とても下がった
- 下がった
- 変わらない
- 上がった
- とても上がった

Q. どのようなときに、そう感じましたか？

- レッスンが始まってすぐは何も聞き取れないし答えることにも抵抗があったけれど、2週間経つと先生との会話が楽しくなった。
- レッスン内で自分の意見を英語で伝えられるようになった。
- 英語で会話をする時の、英語が口から出てくる速さ、考える時の日本語への変換をなるべくなくす力が上がったと、感じました。
- 何か質問されたときの返す速度が速くなった。自分が表現したかったことを何とか伝えられるようになった。
- 先生と話す時日本語を介さずに英語を話すことができた。
- 外国人と話す時に堂々と話せるようになった。聞き取りが徐々にできるようになった。話す時も単語単語ではなく、文で話せるようになった。

Q. 研修終了後、海外留学への関心は高まりましたか？



- 大きく高まった
- 少し高まった
- 前と変わらない
- 少し低くなった
- 大きく低くなった

色んなバックグラウンドを持った人がいて、今まで狭い生き方をしていたと痛感したから。もっと色々な人と関わって、視野を広げたい。

語学力向上には、その言語話者が周りの中で生活をするということがとても重要だと分かったから。

海外で生活することは自分の視野をひろげてくれるものだと知り、もっと長期間過ごしてみたいと思ったから。

日本にいるだけでは学べないことがあるから

違う文化を学ぶことが面白かったから

楽しかったが日本と違う生活で少し大変だったから。

Q. 本プログラムに参加して、あなたが学んだこと、感じたことは何ですか？  
また、この経験を今後どのように活かしていきたいですか？

- フィリピンと日本の文化の違いが興味深かった。英語が楽しく感じたのでこれからの英語学習に活かしたい。
- 人目を気にしすぎない雰囲気があり開放的に感じた。将来はこのような雰囲気の地域に移住し、自由に生きたいと思った。
- 私は、英語を話すことは好きだったので、先生との会話や雑談に抵抗はなく、どんどん色々なことを話していくことができました。その間に、こういう言い方だと、伝わりやすいとか、英語だとこういう文法がよく使われるんだということが学ぶことができたのは、将来海外で仕事をしたいと考えている私にとって貴重な経験でした。
- 英語を話すことは実はそれほど難しいことではないと気づけたのが一番の学びだった。今までは「完璧でないといけない」という思い込みで縛られ、発話するという最初の一步が踏み出せなかった。しかしながら、言語はただのツールでしかなく、伝えたいという気持ちこそがコミュニケーションにおいて重要なことであると学べた。
- 日本とフィリピンでは食生活や他の生活面が大きく違い、日本での暮らしが海外では当たり前ではないということを知りました。また、英語が話せるようになると多くの国の方と自然に会話ができるようになるのももっと会話練習をして色々な人と話したいと思いました。
- 英語力以上にコミュニケーション能力が大事であること。
- 英語の知らないフレーズや単語等の知識を得た事は勿論、現地の環境を知る事で日本の良さを知ったり、現地の人のフレンドリーな性格を間近で実感できたりと、多くの学びがありました。これからも見知らぬ土地に怖がるのではなく、積極的に出向く事で新たな価値観を得たり、視野を広くしたりしていきたいです。



奈良国立大学機構 国際戦略センター 奈良女子大学部会

NEWSLETTER グローバル女性人材養成プログラム(フィリピン) 特別号 2024年9月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町  
TEL: 0742-20-3736  
Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp